

基 本 本 事 項	事務事業名	道路台帳整備事業			所管部署名	都市整備部 道路公園課 管理担当			
	事業期間	平成2年度 ~ 未設定	事業年齢	30歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	木村 克芳	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	道路法			
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	施策	第3節 快適な道路網の充実			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	施策小項目	(3)道路の維持管理の充実			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計		
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	土木費		土木管理費
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目 細目	土木総務費		道路管理事業	
	目的	対象 (誰を、何を)	道路・水路			手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	道路の新設・改良工事や開発行為による新設道路の認定、道路法に基づく許可、道路・水路境界の確定などの道路台帳記載事項の変更について、委託業務により補正・更新を行う。		
	対象年齢	-	-						
意図 (対象にどのような状態になってほしいのか)	道路・水路の現状を台帳や調書に整備することにより、その維持管理を明確にする。								
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	70310101	道路台帳補正		
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					70310102	道路認定廃止		

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	16,340	13,090	10,890	9,713	△ 3,377	27,366	20,000
	② 人件費	1,786	1,702	1,817	985	△ 717	985	985
	正職員投入人員	0.23人	0.22人	0.23人	0.13人	△ 0.09人	0.13人	0.13人
	正職員人件費	1,786	1,702	1,817	985	△ 717	985	985
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	18,127	14,792	12,707	10,698	△ 4,094	28,351	20,985	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	15,615	13,090	10,890	9,713	△ 3,377	27,366	20,000	
受益者負担率(⑩÷⑤)	86.14%	88.50%	85.70%	90.80%		96.53%	95.31%	
C 吉川市年間負担経費(A-B)	2,512	1,702	1,817	985	△ 717	985	985	
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 道路の延長	km	550.00	541.51	541.40	541.10	541.10
	道路の実延長(重用・未供用を除く)		541.39	541.28	541		
②	道路の路線数	路線	2,739	2,736	2,735	2,735	2,735
	道路総延長の路線数		2,734	2,733	2,731		
活 動 指 標	① 道路台帳の補正更新件数	件	96	104	100	100	100
	市道の認定、廃止、区域変更などの件数		134	82	49		
②	道路台帳閲覧等件数	件	2,450	2,500	2,200	2,200	2,200
	道路台帳資料の閲覧交付件数		2,471	2,151	2,265		
成 果 指 標	① 道路台帳補正更新延長	m	4,150.00	4,149.50	1,926.35	1,926.35	1,926.35
	市道延長の増減による補正更新の総延長		2,523.20	1,329.50	1,486.65		
②							

評価年度の主な取組	委託業務名	金額	主な補正内容
	道路台帳補正業務委託	9,713,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・道路後退や道路境界が確定したもの ・道路占用許可や公共工事等で測定基図の変更に係るもの ・地番図(公図の分合筆)、航空写真

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	道路法に基づく道路台帳に、記載しているものや新たに記載するものについて補正・更新行う事業であり妥当である。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	道路法第28条の規定により、道路管理者はその管理する道路の台帳を調整し、保管しなければならない。また、同法施行規則により、その記載事項に変更があったときは、速やかに、これを訂正しなければならない。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	49.00% ★★ 達成度が低い	① 道路台帳の補正更新件数 (増加目標指標)	139.58% ★★★★★ 達成された	78.85% ★★★★ 達成度がやや低い	
	成果指標	77.17% ★★★★ 達成度がやや低い	① 道路台帳補正更新延長 (増加目標指標)	60.80% ★★★★ 達成度がやや低い	32.04% ★★ 達成度が低い		
	成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	新設される道路、寄付される道路用地などによる道路台帳の訂正(補正)は管理業務であり、成果の向上の余地はない。道路台帳を整備することは、道路境界確認などの維持管理が充実するため貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率		令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	
			121.03% 増加している 218,318.78 円	道路台帳の補正更新件数 活動指標を単位として換算 単位: 円/件	85.49% 減少している 135,272.99 円	133.35% 増加している 180,386.59 円	
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	道路台帳補正業務委託は、コスト改善の余地はない。平成18年度に道路台帳閲覧手数料の改定を行っている。				
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成18年度に道路台帳閲覧手数料の改定を行った。 平成27年度に公共基準点を日本測地系から世界測地系に移行し、台帳を電子化した。 水路台帳の電子化が未実施である。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点:水路台帳の整備、土地区画整理事業などの進捗により、台帳の補正・更新費用の増額が見込まれる。 ②市民視点:道路・水路の境界が未確定の場合、当該道路・水路に接する土地の事業の進捗に影響がある。 ③SDGs視点:道路・水路の効率的な窓口業務、各種届出や市各種マップ等を組み合わせデジタル化を推進する。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	市民サービスの向上や窓口業務の効率化のため、水路台帳の電子化を図る。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	木村 克芳	

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化			
	説明	市民サービスの向上や窓口業務の効率化のため、水路台帳の電子化を図る。			
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	まちづくり整備基準条例道路後退用地取得事業			所管部署名	都市整備部 道路公園課 管理担当				
	事業期間	昭和59年度 ~ 未設定	事業年齢	36歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	木村 克芳		
	基本 の 計 画 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市まちづくり整備基準条例			
		まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	実施 計画 の 位置 付け	施策	第3節 快適な道路網の充実			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
		施策小項目	(2)生活道路の整備			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	市 まち ・ ひと ・ し ごと 創 生 総 合 戦 略 と の 関 連	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計		
		個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	土木費	道路橋りょう費	
	事 目 的 的	対象 (誰を、何を)	(直接の対象)道路後退用地部分及びその所有者 (最終的な対象)市民			手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	目 細目	道路橋りょう総務費		
		対象年齢	00	99	全年齢			まちづくり整備基準条例道路後退用地取得事業		
意図 (対象にどのような状態になってほしいのか)		道路幅員が確保され生活道路を整備することにより、安全に通行できる。			執行方法			補助・負担等 道路後退用地採納者への補助		
類似事業		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス (No.・名称)			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	70310201 道路後退用地の取得	
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			703102						

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)	
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)			
投 入 コ ス ト	① 事業費	13,745	12,658	15,391	11,986	△ 672	15,593	15,593	
	② 人件費	正職員投入人員	0.22人	0.76人	0.66人	0.14人	△ 0.62人	0.14人	0.14人
		正職員人件費	1,709	5,879	5,213	1,060	△ 4,818	1,060	1,060
		会計年度任用職員人件費					0		
	③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0				
	⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	15,453	18,537	20,604	13,047	△ 5,490	16,653	16,653	
資 源	⑥ 国庫支出金	国補助率				0			
		⑦ 県支出金				0			
	県補助率								
	⑧ 市債				0				
	⑨ その他				0				
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)				0					
	受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	15,453	18,537	20,604	13,047	△ 5,490	16,653	16,653	
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)		単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
	計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	①	市民	人	73,706	74,484	74,771	73,514	73,756
		道路の延長		72,877	73,014	73,217		
道 路 の 実 延 長 (道 路 + 橋 梁 の 合 計)	②	道路の実延長(道路+橋梁の合計)	km	550.00	541.51	541.40	541.40	541.40
				541.39	541.28	541.41		
活 動 指 標	①	分筆助成金	件	—	35	34	34	34
		分筆助成金を支払った件数		43	35	31		
成 果 指 標	②	用地補償費	件	—	32	39	39	39
		用地補償費を支払った件数		48	28	24		
成 果 指 標	③	物件補償費	件	—	8	10	10	10
		物件補償費を支払った件数		1	5	3		
成 果 指 標	①	採納申請件数①	件	40	35	40	40	40
		採納申請を受理した件数		48	59	42		
成 果 指 標	②	採納申請件数②	件	20	32	39	39	39
		採納申請を受理した件数のうち、指定市道の件数		37	35	24		

評価年度の主な取組	取得の原因	件数(所有者=1件)	面積(公簿)
	寄付採納	24件	466.24㎡
	開発道路	0件	0.00㎡
	買収	1件	223.00㎡
	自主採納等	7件	311.65㎡
	合計	32件	1,000.89㎡
	項目	件数(所有者=1件)	金額
	分筆助成金	31件	7,575,000円
	用地購入費	24件	1,711,251円
	物件補償費	3件	2,606,070円

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	吉川市まちづくり整備基準条例第8条及び吉川市道路用地補償規則に基づき、市が事業者に補償等を行う。宅地開発に伴って道路後退をする場合に、その用地を提供する土地所有者に対して補償等を行うこと、また、道路幅員の確保が図られるという意図は妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	91.18% ★★★★★ 概ね達成された	① 分筆助成金 (増加目標指標)		100.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	105.00% ★★★★★ 達成された	① 採納申請件数① (増加目標指標)	120.00% ★★★★★ 達成された	168.57% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	宅地開発に伴い発生する道路後退であるため計画性はないが、道路拡幅ができるため、成果の向上は図れる。 第5次吉川市総合振興計画の「快適な道路網の充実」への貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		79.46% 減少している 420,857.45 円	分筆助成金 活動指標を単位として換算 単位：円/件 平成18年度から指定市道の採納用地の購入単価を見直し、これ以上のコスト削減は難しい。 道路後退用地の寄付採納者に対する補償であり、受益者負担の余地はない。	89.82% 減少している 359,381.98 円	147.37% 増加している 529,624.11 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成18年度から指定市道の採納用地の購入単価を見直し、実施している。 吉川市道路用地補償規則の一部を改正し、平成29年4月1日から自主的な採納なども補償等の対象としている。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点:助成金額や補償額については、基準によって算出しているため、コスト改善は難しい。 ②市民視点:生活道路が拡幅、整備されることは、利便性の向上や安全な通行につながる。 ③SDGs視点:自主採納を促進し、指定市道の整備につなげる。	

事業(一次)評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	木村 克芳	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名		道路管理事業		所管部署名	都市整備部 道路公園課 管理担当			
	事業期間		平成21年度 ~ 未設定	事業年齢	11歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	木村 克芳
	基本 との 計画 関係	関連付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		根拠法令等	道路法、吉川美南駅自由通路の設置及び管理に関する条例		
		まちづくり目標				事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
		施策				事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算 科目	会計区分	一般会計		
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	土木費	土木管理費	
	事 目 的 的	対象 (誰を、何を)	・道路占用許可申請者 ・道路工事施行承認申請者 ・吉川美南駅自由通路利用者 対象年齢 00 99 全年齢			手 段 (どのよう な事業を 行うのか)	・道路に上下水道管等を埋設するための道路占用申請に対して、内容を審査し、条件等を付して許可をする。 ・道路管理者以外の者が道路工事を行うための道路工事施行承認申請に対して、その内容を審査し、条件等を付して承認をする。 ・吉川美南駅自由通路の清掃や消防設備、電気設備などの保守点検を業務委託で行う。		
		意 図 (対象にど のような 状態に なってほ しいのか)	・道路占用物工事や道路施行承認工事を事業者と調整を行い、道路を安全に利用できるようにする。 ・吉川美南駅自由通路を安全に利用できる。						
類似事業		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス (No.・名称)		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	60310301	道路・水路及び公共物の占用許可
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	703103				60310302	道路・水路及び公共物の工事施行承認		

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)	
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)			
投 入 コ ス ト	① 事業費	14,131	10,503	11,171	9,742	△ 762	13,190	11,738	
	② 人件費	37,665	30,631	27,015	34,310	3,680	34,310	34,310	
		正職員投入人員	4.85人	3.96人	3.42人	4.53人	0.57人	4.53人	4.53人
		正職員人件費	37,665	30,631	27,015	34,310	3,680	34,310	34,310
	③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	51,796	41,134	38,186	44,052	2,918	47,500	46,048		
資 源	⑥ 国庫支出金						0		
	国補助率								
	⑦ 県支出金						0		
	県補助率								
	⑧ 市債						0		
⑨ その他						0			
特定 財源	⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	12,342	10,503	10,138	9,742	△ 761	13,190	11,738	
	受益者負担率(⑩÷⑤)	23.83%	25.53%	26.55%	22.11%		27.77%	25.49%	
C	吉川市年間負担経費(A-B)	39,454	30,631	28,048	34,310	3,679	34,310	34,310	
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)		単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
	計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	①	道路の延長	km	550.00	541.51	541.40	541.40	541.40
		道路の実延長(重用・未供用を除く)		541.39	541.28	541		
活 動 指 標	①	道路占用調整会議の開催	回	1	1	1	1	1
		道路占用調整会議の開催の数		1	1	1		
	②	道路法に基づく許可等の件数	件	—	500	500	500	500
		施行承認件数+占用許可件数		493	537	452		
成 果 指 標	③	吉川美南駅自由通路点検	回	—	25	31	37	37
		消防設備、電気設備、昇降機の点検数		25	25	37		
成 果 指 標	①	事故発生件数	件	—	3	10	5	5
		管理瑕疵による事故発生件数		1	5	10		
成 果 指 標	②							

評価年度の主な取組	項目	内容	金額
	吉川美南駅自由通路管理	光熱水費	1,855,125円
		施設修繕料	965,800円
		管理委託料	5,440,490円
		火災保険料	109,266円
	道路水路賠償責任保険	道路548.8km 水路137.0km	1,054,410円
	承認・許可名	件数	
	道路工事施行承認(第24条)	50件	
	道路占用許可(第32条)	水道事業138件 下水事業87件 電気事業54件 ガス事業147件 その他26件 合計452件	
	道路占用調整会議	令和2年4月22日書面開催	12業者・部署等

事業性評価	区分	評価結果	判断理由(特記事項)					
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	道路は、道路管理者が道路法に基づき行う承認・許可の事務であり、良好な道路環境を保つため、各占用者に対し工事が重複しないなどの調整を図ることは妥当である。 吉川美南駅自由通路は、管理者である市が保守点検などを行い、利用者の安全を図ることは妥当である。				
		意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
		役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				市が道路管理者、施設管理者であるため妥当である。	
	有効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
			活動指標	90.40% ★★★★ 概ね達成された	② 道路法に基づく許可等の件数 (増加目標指標)		107.40% ★★★★★ 達成された	
		成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 事故発生件数 (ゼロ値目標指標)		33.33% ★★ 達成度が低い		
		成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	市道や管理施設は常に良好な環境を維持する必要があることから、成果の向上の余地はなく、貢献度もない。				
	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						
	効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
127.23% 増加している 97,459.72 円			道路法に基づく許可等の件数 活動指標を単位として換算 単位：円/件	55.39% 減少している 105,062.43 円	72.91% 減少している 76,599.80 円			
コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	当事業にかかるコストは人件費であり、申請に応じて現地確認等を行い適正に処理する必要があることから、一概にコスト削減できるものではない。 道路法第39条や吉川市道路占用料徴収条例に規定しており、現在のところ適正化の余地はない。					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし							

改革改善	これまでの改革・改善内容	吉川市道路占用料徴収条例や吉川市道路占用規則を改定した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点:本復旧の未施工、道路の陥没の早期発見、改善に取り組む。 ②市民視点:市道や吉川美南駅自由通路が安全に利用できる。 ③SDGs視点:適切な維持管理による施設等の長寿命化を推進する。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	木村 克芳		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
二次評価日	令和3年6月23日				

Table with project details: 事務事業名 (道路改良事業), 所管部署名 (都市整備部 道路公園課 工務担当), 事前評価日 (令和2年11月30日), 事業区分 (法定受託事務, 自治事務), 実施計画の位置付け (有), 対象 (直接の対象)市道, 手段 (道路の幅幅と恒久性の高い道路改良を行うため...), 業務プロセス (道路改良工事, 道路新設工事).

Table with financial data: 区分 (A, B, C, D), 区 分 (① 事業費, ② 人件費, etc.), 平成30年度決算(千円), 令和元年度決算(千円), 令和2年度 (予算, 決算, 増減額), 令和3年度当初(千円), 令和4年度計画(千円).

Table with performance indicators: 区分, 指標名 (上段), 単位, 平成30年度 (目標, 実績), 令和元年度 (目標, 実績), 令和2年度 (目標, 実績), 令和3年度計画(見込)値, 令和4年度計画(見込)値.



評価年度の主な取組	道路改良事業費 31,776,800円			
	1 委託料 12,628,000円			
	委託名	委託場所	委託費(円)	
	三郷料金所SIC関連道路予備設計等業務委託	三輪野江	12,628,000	
	2-1 工事請負費(道路改良工事費)12,801,800円			
	工事名	工事場所	工事費(円)	工事延長(m)
	市道3-430号線道路改良工事	加藤	12,801,800	296.4
2-2 工事請負費(舗装新設工事費)6,347,000円				
	工事名	工事場所	工事費(円)	工事延長(m)
	市道1-308号線新設舗装工事	上内川	4,070,000	194.2
	市道3-712号線新設舗装工事	加藤	2,277,000	115.6
	合計		6,347,000	309.8

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・当事業は、幹線道路や主要生活道路の改良を行うもので、多くの市民が必要としている事業であり、対象・手段は妥当である。 ・交通量の多い道路や通学路などの整備を行い、利用者の安全性を高めるものであり、意図は妥当である。 ・道路法では、市道の管理はその路線の存する市が行うことに定められているため、役割分担は妥当である。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 道路改良地区 (増加目標指標)	66.67% ★★★ 達成度がやや低い	200.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	1212.40% ★★★★★ 達成された	① 道路改良工事延長 (増加目標指標)	104.99% ★★★★★ 達成された	240.60% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・当事業に要望は多く寄せられており、道路が整備されることで、利用者の安全が図られ、要望に対応できるので、成果の向上の余地はある。 ・総合振興計画や都市計画マスタープランで位置づけられている主要市道の整備に大きく貢献できるものである。				
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		588.42% 増加している 32,609,940.00 円	道路改良工事発注件数 活動指標を単位として換算 単位：円/件	915.92% 増加している 37,240,841.50 円	14.88% 減少している 5,541,911.00 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・公共工事は、積算基準や単価が定められており改善は難しいが、材料については低価格な再利用品を使用するなど、コスト改善を図ることができる。 ・市道は、不特定多数の市民が利用するため、限定した受益者を伴わない事業である。				
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	・ガスや上下水道などの占有者と工事の実施期間について調整を図り、無駄な工事を減らすなどの改善を行っている。 ・砕石やアスファルト混合物などの材料について、再利用品で低価格なものを使用するなどしている。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点・・・道路改良を行うことで、地域間の移動が円滑になるため必要であるが、同時に維持するための費用の増大が見込まれるため、財政を圧迫することが懸念される。 ②市民視点・・・道路の拡幅や、舗装の新設は、市民の生活に密接に関係するため、市民の関心は極めて高い。 ③持続可能性視点・・・道路利用者が存在する限り当該事業が終了することはない。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	木村 克芳	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	都市計画街路整備事業			所管部署名	都市整備部 道路公園課 工務担当						
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	木村 克芳		
	基本 との 計画 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	都市計画法(昭和43年6月15日)				
		まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 自治事務			
		施策	第3節 快適な道路網の充実				事務事業の性質	<input type="checkbox"/> 毎年度繰り返し	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 複数年度		
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無				予 算 科 目	会計区分	一般会計			
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無					款 項	土木費	都市計画費		
	事 目 的 的	対象 (誰を、何を)	(直接の対象)都市計画道路 (最終的な対象)都市計画道路を利用する市民				手 段 (どのような 事業を行うのか)	目 細目	都市計画街路整備事業費		都市計画街路整備事業	
		対象年齢	00	99	全年齢				執行方法		直営	
意図 (対象にどのような状態に なしてほしいのか)		都市計画道路が整備され、交通の円滑化が進むとともに市民が安全に利用できる。				道路の新設や拡幅など耐久性の高い道路整備を行うため、道路調査及び測量、設計、用地買収を行い、工事を実施する。						
類似事業		<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	道路改良事業		業務プロセス (No.・名称)			<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	70320206	道路築造工事(国庫補助事業)
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	703202				70320206	用地購入				

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	163,472	301,946	350,595	347,970	46,025	434,308	178,892
	② 人件費	10,795	8,199	10,980	6,892	△ 1,307	6,892	6,892
	正職員投入人員	1.39人	1.06人	1.39人	0.91人	△ 0.15人	0.91人	0.91人
	正職員人件費	10,795	8,199	10,980	6,892	△ 1,307	6,892	6,892
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	174,266	310,145	361,575	354,863	44,718	441,200	185,784	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	24,785	22,696	38,264	38,264	15,568	56,200	
	国補助率	11/20	1/2	1/2	1/2		1/2	
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債	119,500	243,800	277,200	273,000	29,200	324,100	
⑨ その他		15,512	15,583	15,142	△ 370	37,893		
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	29,981	28,137	30,528	28,457	320	23,007	185,784
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助		<input checked="" type="checkbox"/> 一部補助		<input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 都市計画道路延長	m	23,550	23,550	23,550	23,550	23,550
	都市計画道路決定済の総延長		23,550	23,550	23,550		
②	市道利用者	人	73,706	74,484	74,771	73,514	73,756
	総人口		72,877	73,014	73,217		
活 動 指 標	① 都市計画道路整備率(越谷吉川線市施行分)	%	56	70	87	89	95
	執行済事業費/総事業費		61	78	83		
成 果 指 標	① 都市計画道路整備率	%	74	74	74	74	74
	整備済延長/都市計画決定延長		74	74	74		
	② 道路用地買収面積(越谷吉川線市施行分)	㎡	8,996	8,996	8,996	8,996	8,996
	用地買収面積		8,995	8,995	8,996		



3

3 質の高い保健医療サービスと福祉を確保する



8

8 働きがいも経済成長も



9

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11

11 住み続けられるまちづくりを



評価年度の主な取組	都市計画街路整備事業 347,970,400円			3 負担金補助及び交付金 155,854,300円 越谷吉川線街路整備事業費負担金(景観分含) 152,799,900円 三郷流山線街路整備事業負担金 2,978,400円 東埼玉道路建設促進期成同盟会負担金 48,000円 浦和野田線建設促進期成同盟会負担金 14,000円 県街路事業推進協議会負担金 14,000円
	1 委託料 8,176,300円			
	委託名	委託費(円)	概要	
	(都)越谷吉川線積算技術業務委託	2,805,000	積算技術支援一式	
	(都)越谷吉川線修正設計委託	1,501,500	修正設計一式	
	(都)越谷吉川線設計内容確認業務委託	404,800	3者会議一式	
	(都)越谷吉川線測量調査委託	3,465,000	路線測量業務一式	
	2 工事請負費 183,939,800円			
	工事名	工事費(円)	概要	
	(都)越谷吉川線整備工事(A1・A2橋台工)	123,690,100	橋台2基	
(都)越谷吉川線整備工付帯工事(A1・A2橋台)	249,700	付帯工事一式		
(都)越谷吉川線整備工事(上部工・護岸工)	60,000,000	上部工一式 護岸工一式		

※R1からの繰り越し分
※R3へ繰り越し分除く

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・街路事業は、計画的なまちづくりの基礎をなすものとされており、都市計画事業として整備する。 ・幹線道路である都市計画道路の整備は、公共交通網の構築や円滑な交通が図られることから、妥当である。 ・市内の渋滞の緩和が期待されることから、利用者の安全性を高めるものであり、意図は妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・都市計画道路は道路法の道路であり、市道の管理はその路線の存在する市が行うことに定められているため、役割分担は妥当である。				
有効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	95.10% ★★★★ 概ね達成された	① 都市計画道路整備率(越谷吉川線市施行分) (増加目標指標)	108.55% ★★★★★ 達成された	110.61% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	100.27% ★★★★★ 達成された	① 都市計画道路整備率 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・他の都市計画道路整備事業に合わせ、一体的な整備を図り、交通機能・市街地形成機能・空間機能が発揮される。 ・総合振興計画で位置づけ、国や県が行う事業に関連し進めている事業である。				
上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		107.04% 若干増加している 4,275,454.70円	都市計画道路整備率(越谷吉川線市施行分) 活動指標を単位として換算 単位:円/%	64.75% 減少している 2,853,552.04円	139.97% 増加している 3,994,138.60円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・公共工事は、積算基準や単価が定められており改善は難しいが、材料については低価格な再利用品を使用するなど、コスト改善を図ることが出来る。 ・道路は、不特定多数の市民が利用するため、限定した受益者を伴わない事業である。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	都市計画道路の整備は、国の補助金を活用している。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	① 経営的視点・・・都市計画道路を整備することで、近隣自治体への移動が円滑になるため必要であるが、同時に維持するための費用の増大が見込まれるため、財政を圧迫することが懸念される。 ② 市民視点・・・主要幹線道路の整備は、市民の生活に密接に関係するため、市民の関心は極めて高い。 ③ 持続可能性視点・・・道路利用者が存在する限り当該事業が終了することはない。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)					
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	木村 克芳		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	説明					
	二次評価日	令和3年6月23日				

Table with project details: 事務事業名 (道路維持補修事業), 所管部署名 (都市整備部 道路公園課 工務担当), 事前評価日 (令和2年11月30日), 事業区分 (法定受託事務, 自治事務), 実施計画の位置付け (有), 対象 (市道), 手段 (道路の舗装及び道路施設の補修, 清掃, 除草など).

Table with financial data: 区分 (A, B, C, D), 平成30年度決算(千円), 令和元年度決算(千円), 令和2年度 (予算, 決算, 増減額), 令和3年度当初(千円), 令和4年度計画(千円).

Table with performance indicators: 区分, 指標名 (上段), 単位, 平成30年度 (目標, 実績), 令和元年度 (目標, 実績), 令和2年度 (目標, 実績), 令和3年度計画(見込)値, 令和4年度計画(見込)値.



評価年度の主な取組	道路維持補修事業 197,765,779円			3 工事請負費 131,964,065円		
	1 需用費 11,970,420円			種別 概要 実施額(円)		
	2 委託料 30,135,536円			種別 概要 実施額(円)		
	種別 概要 実施額(円)			種別 概要 実施額(円)		
	種別 概要 実施額(円)			種別 概要 実施額(円)		
	種別 概要 実施額(円)			種別 概要 実施額(円)		
	種別 概要 実施額(円)			種別 概要 実施額(円)		
	種別 概要 実施額(円)			種別 概要 実施額(円)		
	種別 概要 実施額(円)			種別 概要 実施額(円)		
	種別 概要 実施額(円)			種別 概要 実施額(円)		

事業性	区分		評価結果		判断理由(特記事項)		
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・道路の補修が必要な箇所は、市内随所で発生しており、道路パトロールを実施しながら補修の必要な危険箇所の早期発見に努めている。修繕については、応急対応として、職員による補修を実施した工事が必要な箇所については、単価契約等により対応しており、手段については妥当である。			
		意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・維持補修の必要な箇所の早期発見と対応に努め、利用者が安全に通行できるようにしており、意図は妥当である。			
		役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・道路法では、市道の管理はその路線の存する市が行うことに定められているため、役割分担は妥当である。			
	有効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度
			活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 道路パトロールの日数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された
		成果指標	75.88% ★★★ 達成度がやや低い	① 道路補修要望等処理率 (増加目標指標)	72.82% ★★★ 達成度がやや低い	79.65% ★★★ 達成度がやや低い	
		成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・区画整理や宅地開発等により舗装延長が増加している反面、経年劣化等による舗装の補修工事延長も増加していく傾向にあるが、住民からの通報や道路パトロールによる早期発見に努め、維持補修の成果向上を図ることができる。			
	評価性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・道路は生活を営む上で必要不可欠なものであり、道路補修は上位施策である維持管理の充実に貢献できる。			
		単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	
74.86% 減少している 2,537,750.49 円			道路パトロールの日数 活動指標を単位として換算 単位：円/日	68.53% 減少している 2,630,963.75 円	128.85% 増加している 3,390,026.01 円		
コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・公共工事は、積算基準や単価が定められており改善は難しいが、材料については低価格な再利用品を使用するなど、コスト改善を図ることができる。					
評価性	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・道路の維持補修は、道路管理者が行うものであり、受益者負担の余地はない。				
	変動率						

改革改善	これまでの改革・改善内容	・ガスや上水道などの占有者と工事の実施期間について調整を図り、無駄な工事を減らすなどの改善を行って来ている。 ・砕石やアスファルト混合物などの材料について、再利用品で低価格なものを使用するなどしている。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点・・・道路補修を行うことで道路管理瑕疵事故を未然に防ぐ必要があるが、同時に維持するための費用の増大が見込まれるため、財政を圧迫することが懸念される。 ②市民視点・・・道路の機能の維持は、市民の生活に密接に関係するため、市民の関心は極めて高い。 ③持続可能性視点・・・道路利用者が存在する限り当該事業が終了することはない。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	木村 克芳	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with project details including name (橋りょう長寿命化事業), period (平成25年度 ~ 未設定), age (7歳), and various administrative and financial classification fields.

Table showing budget and cost breakdown by category (A: Total Costs, B: Specific Resources, C: Subsidies, D: Classification) with columns for fiscal years and budget amounts.

Table for performance indicators (目標設定) with columns for indicators, units, and performance values for fiscal years 30, Heisei 2, Heisei 3, Heisei 4, and Heisei 5.

Footer area containing logos for Sustainable Development Goals (3, 8, 9, 11) and copyright information for Yoshikawa City office.

評 価 年 度 の 主 な 取 組	橋りょう長寿命化事業 12,375,000円					
	1 委託料 495,000円					
	種別	実施額(円)	概要	橋の名称(所在)		
	市道2-316号線川富橋外補修工事	495,000	2橋修正設計	下手橋(吉川一丁目)、関橋(吉川二丁目)		
	2 工事請負費 11,880,000円					
	種別	実施額(円)	概要	橋の名称(所在)		
	市道2-317号線下手橋補修工事	11,880,000	1橋補修	下手橋(吉川一丁目)		
	3 診断判定別橋梁数(平成31年3月現在)※橋梁数は点検時のもので、点検以降補修を行ったものは数値に反映していない					
	区分	橋梁数	定義	区分	橋梁数	定義
	I 健全	62	機能に支障が出ていない状態	III 早期措置段階	7	機能に支障が出る可能性があり早期に措置を講ずるべき状態
II 予防措置段階	95	機能に支障はないが、予防保全観点から措置を講じるのが望ましい状態	IV 緊急措置段階	0	機能に支障が出ている。又は生じる可能性が高く緊急的に措置をするべき状態	

事 業 評 価	区 分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥 当 性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・市が管理する橋長2m以上の橋梁について、道路法において5年に1度の近接目視点検が義務付けられており、計画的に点検及び修繕を実施していくものであり、手段については妥当である。 ・修繕が必要な箇所の早期発見に努め、利用者が安全に通行できるようにしており、意図は妥当である。 ・道路法では、橋梁の管理はその橋梁の存する市が行うことに定められているため、役割分担は妥当である。 ・市が建設した橋梁、または市が引き継いだ橋梁の維持管理は、市の責務であり妥当である。 ・橋梁が適正に通行できるように、定期的に点検を行い、点検結果をもとに修繕を実施することは、市の責務であり妥当である。				
		意 図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
		役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	有 効 性	目 標 達 成 度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	▲活動 ●成果
			活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 橋梁の点検調査実施数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された		
		成果指標	88.00% ★★★★ 概ね達成された	② 橋梁の修繕・架替実施済橋梁数 (増加目標指標)	105.88% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された		
		成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・今後においては橋梁数の大幅な増加は見込まれないが、高度経済成長期に建設された橋梁が経年劣化していく中で、定期的な点検を行い、計画的に修繕していくことで成果向上を図ることができる。 ・橋梁は生活を営む上で必要不可欠なものであり、橋梁長寿命化は上位施策である維持管理の充実に貢献できる。				
	効 率 性	単 位 当 た り コ ス ト 変 動 率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	変動率 	
			98.79% 若干減少している 631,354.55 円	橋梁の修繕・架替実施済橋梁数 成果指標を単位として換算 単位：円/橋	105.24% 若干増加している 3,168,811.61 円	20.17% 減少している 639,057.05 円		
コスト改善の余地		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・公共工事は、積算基準や単価が定められており改善は難しいが、工法や補修内容を的確に選択し、コスト改善を図っていく余地がある。 ・橋梁の維持管理は、道路管理者が行うものであり、受益者負担の余地はない。					
受 益 者 負 担 適 正 化 の 余 地	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改 革 改 善	これまでの改革・改善内容	・橋梁の維持には多額の費用が必要となるため、橋梁の必要性を検討し、補修を行う必要がある。 ・専門的な知識・技術・経験を有する職員の不足。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	① 経営的視点・・・施設の老朽化の進行に伴い費用の増大が見込まれるため、市の財政を圧迫することが懸念される。 ② 市民視点・・・市域を移動するために不可欠な施設であり、市民の関心も極めて高い。 ③ 持続可能性視点・・・市域に水路や河川が存在する限り、当該事業が終了することはない。	

事 業 一 次 方 向 性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	・計画的に長寿命化率を向上させるためには、交付金の獲得が必要不可欠であることから、他自治体の事例を参考にすることが必要である。 ・経験のある職員の採用や、国や県が実施する研修に積極的に参加し、職員の技術力を向上させる。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	木村 克芳	

二 次 評 価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化			
	説明	・長寿命化計画に基づき補修工事を実施することで、事業費の平準化を図ることが出来るものであり、確実に計画を遂行する必要があることから、近接する工事(舗装補修工事や同規模の橋梁修繕)と一体的に発注するなどの効率化を検討し、長寿命化率の向上を図る。			
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	交通安全施設整備事業			所管部署名	都市整備部 道路公園課 工務担当				
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	木村 克芳
	基本 の 計 画 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無		根拠法令等	道路法(昭和27年6月10日法律第180号)			
		まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
		施策	第9節 交通事故のないまちづくり			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し	<input type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 複数年度	
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無		直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
	創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	基本目標2『市民の幸福実感を追求する』		予 算 科 目	会計区分	一般会計		
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		款		土木費	道路橋りょう費		
	目 的 的	対象 (誰を、何を)	(直接の対象)道路反射鏡、路面標示 (最終的な対象)市道の利用者			手 段 (どのよう な 事業を行うのか)	目	道路維持費		交通安全施設整備事業
		意 図 (対象にどの ような状態に なしてほしい のか)	・交通安全施設の機能、役割が十分に発揮される。 ・安全に通行でき、交通事故が減少する。				目細目			
執行方法		一部委託 工事発注等			・道路反射鏡を設置するとともに維持管理を行う。 ・法定外路面標示を施工するとともに維持管理を行う。					
類似事業	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		業務プロセス (No.・名称)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	703205							

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
投 入 コ ス ト	① 事業費	0	26,242	23,260	21,235	△ 5,006	25,149	17,090
	② 人件費		8,509	8,689	3,408	△ 5,100	3,408	3,408
	正職員投入人員		1.10人	1.10人	0.45人	△ 0.65人	0.45人	0.45人
	正職員人件費		8,509	8,689	3,408	△ 5,100	3,408	3,408
	会計年度任用職員人件費						0	
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		0	34,750	31,949	24,644	△ 10,106	28,557	20,498
資 源	⑥ 国庫支出金		5,500	5,500	3,737	△ 1,763	10,450	
	国補助率		11/20	11/20	11/20		11/20	11/20
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	0	29,250	26,449	20,907	△ 8,343	18,107	20,498
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助		<input checked="" type="checkbox"/> 一部補助		<input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 市道利用者	人	-	74,484	74,771	73,514	73,756
	② 総人口		72,877	73,014	73,217		
活 動 指 標	① 路面標示の工事实施延長	m	-	1,500	1,500	1,500	1,500
	路面標示の新設・修繕を実施した延長		1,461	2,720	2,057		
	② 道路反射鏡工事实施箇所数	箇所	-	10	10	10	10
	道路反射鏡の新設・修繕箇所数		47	14	18		
成 果 指 標	① 交通事故数	件	-	200	170	170	170
	市内で発生した人身事故数		187	178	152		
	② 死亡者数	人	0	0	0	0	0
	市内で発生した交通事故による死亡者数		2	1	4		



3 すぐれた人に
健康と福祉を



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを

評価年度の主な取組	交通安全施設整備事業 21,235,452円		
	1 需用費 1,590,600円		
	種別	概要	実施額(円)
	道路反射鏡修繕	18箇所(撤去含)	1,379,400
	安全施設修繕	3箇所(撤去含)	211,200
	2 工事請負費 19,644,852円		
	種別	概要	実施額(円)
	ゾーン30工事	美南1丁目、2丁目(東) 26ha	12,960,200
	歩道整備工事1	2-1138 横断歩道新設工事箇所	990,000
	歩道整備工事2	2-394 横断歩道新設工事箇所	880,000
歩道補修工事	2-102	1,815,000	
路面標示工事単価契約	単価契約3件	2,999,652	
合計		19,644,852	

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・市道を利用する市民に対して、交通安全施設を適切に維持、修繕、設置することの対象や手段は妥当である。 ・交通安全施設の整備は、日常的にその道路を利用する市民の安全性・安心感を向上させるものであり、妥当である。 ・交通規制を伴う交通安全施設の整備に関しては、警察において実施しているが、地域の要望を受け、より安全性を高めるため、道路管理者である市でも積極的に整備を図る必要があり、役割分担については妥当である。 ・交通安全施設整備事業として市が設置した区画線全般やガードレール、車止めの支柱、狭窄、ハンブなどの維持管理は、道路管理者である市の責務であり妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	137.13% ★★★★★ 達成された	① 路面標示の工事実施延長 (増加目標指標)	評価不可	181.31% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	110.59% ★★★★★ 達成された	① 交通事故数 (減少目標指標)	評価不可	111.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・交通安全施設の整備を拡大することにより、事故の防止や走行性の確保が図れるものであり、成果向上の余地はある。 ・基本計画に掲げてある交通安全施策の整備という上位施策への貢献度は高い。				
上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
価効率性	単当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		93.76% 若干減少している 11,980.43 円	路面標示の工事実施延長 活動指標を単位として換算 単位:円/m		評価不可 12,777.16 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・地域の要望や事故発生状況に応じて、設置・改善を行うものであるため、コスト改善の余地はない。 ・道路管理者が道路利用者の安全につながるために行うもので、市民個々に負担を転嫁するべきのものではなく、受益者負担の余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	・吉川警察署等と連携し、市の出来る交通安全施設整備については、ゾーン30の導入を行った。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点・・・路面標示の範囲を拡大することは、市民の生命身体を守るために必要であるが、同時に維持するための費用の増大が見込まれるため、財政を圧迫することが懸念される。 ②市民視点・・・交通規制を補完する路面標示などもあり、市民の関心も極めて高い。 ③持続可能性視点・・・道路利用者が存在する限り当該事業が終了することはない。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	木村 克芳		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
二次評価日	令和3年6月23日				

Table with project details including name (橋りょう架替事業), period (令和2年度), and various evaluation criteria like budget, execution method, and impact.

Table showing financial breakdown by category (A-D) and year (Heisei 30, Reiwa 1, Reiwa 2, Reiwa 3, Reiwa 4).

Table for target setting (目標設定) and achievement (実績) with columns for indicators, units, and values across different years.



評価年度 の 主な 取組	橋梁整備事業 22,660,000円			
	1 委託料 22,660,000円			
	業務名	場所	内容	金額
	市道3-104号線無名橋91	三輪野江二丁目	橋梁詳細設計一式	22,660,000

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・市が管理する橋長2m以上の橋梁について、道路法において5年に1度の近接目視点検が義務付けられており、計画的に点検及び修繕を実施していくものであり、手段については妥当である。 ・県が行う大場川の河川改修事業にあわせて利用者が安全に通行できるように橋の架け替えを行うものであり、意図は妥当である。 ・道路法では、橋梁の管理はその橋梁の存する市が行うことに定められているため、役割分担は妥当である。 ・市が設置した橋梁や、他の機関から引継ぎを受けた橋梁の架け替えを含めた維持管理は、道路管理者である市の責務であり妥当である。			
	意図		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業 効 性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度		
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 河川管理者との協議回数 (増加目標指標)				
	成果指標	70.00% ★★★ 達成度がやや低い	① 橋架け換え工事の進捗状況 (増加目標指標)					
	成果向上の余地		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・橋梁は生活を営む上で必要不可欠なものであり、橋梁長寿命化は上位施策である維持管理の充実に貢献できる。				
価 効 率 性	単位当たりコスト変動率		令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
			評価不可 3,475,182.86 円	橋架け換え工事の進捗状況 成果指標を単位として換算 単位：円/%				
	コスト改善の余地		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・橋の架け換えにより、現在の3.3mから6.0mになることで、幅員が広くなり、橋梁部分で、自動車のすれ違いが可能になるため、走行性の確保が図れるものであり、成果向上の余地はある。				
	受益者負担適正化の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革 改 善	これまでの改革・改善内容	・橋梁の架け換えにおいては、多額の費用が必要となるため、橋梁の必要性を検討し、架け換えを行う必要がある。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 県が行う大場川の河川改修事業で河川の幅が広がるため、現在の橋梁では、長さが足りないことから、架け換えを行うものである。今後の河川改修範囲に3橋あることから、安定した財源の確保が必要である。	機会(プラス要素) 特になし。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点・・・橋梁の架け換えるための費用の増大が見込まれるため、市の財政を圧迫することが懸念される。 ②市民視点・・・市域を移動するために不可欠な施設であり、市民の関心も極めて高い。 ③持続可能性視点・・・市域に水路や河川が存在する限り、当該事業が終了することはない。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	木村 克芳	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	公園維持管理事業			所管部署名	都市整備部 道路公園課 公園緑地担当					
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	木村 克芳	
	基本 との 計画 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	根拠法令等	都市公園法、吉川市都市公園条例		
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し	<input type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 複数年度	直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	基本目標2『市民の幸福実感を追及する』	予 算 科 目	会計区分	一般会計		款	土木費	都市計画費
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	緑の計画	目	目	細目	公園費	公園維持管理事業		
	目的	対象 (誰を、何を)	公園・緑地等 全市民			手 段 (どのよう な事業を 行うのか)	・「公園再生プロジェクト」を推進する。 ・公園等管理団体へ報償費を支払う。 ・業者による通常維持管理委託を発注する ・専門業者による公園遊具の精密点検委託を発注する。 ・業者による日常点検(目視、打診など)を発注する。 ・業者や職員による施設修繕を行なう。				
		対象年齢	00	99	全年齢						
	意 図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	公園・緑地等が良好に管理されることにより、市民が快適かつ安全に公園・緑地等を利用できる。									
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	60330105	公園、街路等の樹木管理業務	
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	703301					60330103	公園施設等の修繕(直営・請負)		

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	287,406	290,052	276,973	272,812	△ 17,240	251,509	305,487
	② 人件費	37,199	33,647	34,361	32,265	△ 1,382	32,265	32,265
	正職員投入人員	4.79人	4.35人	4.35人	4.26人	△ 0.09人	4.26人	4.26人
	正職員人件費	37,199	33,647	34,361	32,265	△ 1,382	32,265	32,265
	会計年度任用職員人件費						0	
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	324,606	323,699	311,334	305,077	△ 18,622			
B 特定財源	⑥ 国庫支出金			11,319	10,780	10,780	7,100	
	国補助率			1	1			
	⑦ 県支出金						0	
	県補助率							
	⑧ 市債						0	
⑨ その他	4,247	385	368	390		5		
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	1,564	2,055	5,653	3,920	1,865			
受益者負担率(⑩÷⑤)	0.48%	0.63%	1.82%	1.28%				
C	吉川市年間負担経費(A-B)	318,795	321,259	293,994	289,987	△ 31,272		
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助		<input checked="" type="checkbox"/> 一部補助		<input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 全市民	人	73,706	74,484	74,771	73,514	73,756
	市の人口		72,877	73,014	73,217		
②	都市公園等の箇所数	箇所	227	227	229	229	229
	市が管理を行なう都市公園等の数		227	227	229		
活 動 指 標	① 日常点検実施回数	箇所	380	330	247	276	276
	職員による公園等の日常点検回数		400	328	61		
②	精密点検実施公園数	箇所	57	57	57	54	54
	遊具点検業務委託の締結(57箇所×1回)		57	57	57		
③	公園マナー向上啓発回数	回	6	26	26	26	26
	広報・HPなどによる公園利用のマナー向上啓発回数		41	31	34		
成 果 指 標	① 利用者からの苦情件数	件	9	10	8	15	15
	公園等の利用者からの施設管理瑕疵の苦情・要望件数		6	15	23		
②							

評価年度の主な取組	1 公園等管理報償費 8,865千円
	2 光熱水費 電気 6,438千円、上水道 1,562円、下水道 678円、合計 8,678千円
	3 公園施設等修繕料 遊具、施設等 1,281千円、電気関係 2,148千円、トイレ水道関係(洋式化以外) 968千円、その他 443千円 トイレ様式化修繕 6,336千円、合計 11,176千円
	4 公園等管理委託料 樹木管理等 186,656千円、公園清掃(ゴミ、池) 34,704千円、合計 221,360千円
	5 遊具点検委託料 57公園 858千円
	6 公園等工事費 関公園(再生事業) 12,898千円、保第3公園(再生事業) 4,444千円、遊具撤去 2,609千円、合計 19,951千円

区分	評価結果		判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市民の参加による管理、専門業者による管理及び直営による管理の区分に応じて、公園施設(緑道を含む)を快適かつ安全に利用できるよう維持管理を行っていく。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市が設置した都市公園の管理については、都市公園法に「当該地方公共団体が行う」と規定されており、市が直接維持管理を行っていくことは妥当である。				
業	有効性	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		目標達成度	24.70% ★ 達成度がかなり低い	① 日常点検実施回数 (増加目標指標)	105.26% ★★★★★ 達成された	99.39% ★★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	-87.50% ★ 達成度がかなり低い	① 利用者からの苦情件数 (減少目標指標)	133.33% ★★★★★ 達成された	50.00% ★★★ 達成度がやや低い		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	引き続き、市民の参加による公園等の維持管理を推進する。また、不具合を早期に発見することで修繕経費を必要最小限に抑えることができる点において成果向上の余地がある。また、本事業を充実させることで基本計画の「うるおい・安心・快適なまちづくり」に貢献することができる。				
価	効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	
		コスト改善の余地	93.99% 若干減少している 4,166.76円	全市民 対象指標を単位として換算 単位:円/人	103.25% 若干増加している 4,454.16円	99.53% ほぼ変動していない 4,433.39円	
	受益者負担適正化の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	遊具や施設等の老朽化により修繕料及び委託料の減額は困難であるが、指定管理者制度の導入やPFIの活用により維持管理費を抑制できる可能性がある。また、テニスコートの利用料、公園使用料、公園占用料の改定も検討の余地がある。				
		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	「公園再生プロジェクト」を開始し「市民に身近で親しみのある公園」を市全体の公園コンセプトに定め、老朽化した遊具や施設の見直しを行った。市民の参加による公園等の維持管理を推進した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	行財政改革大綱「2-③-⑥地域連携による公園施設等の管理」において、市との管理協定による地域住民による美化活動や公園内施設点検を促進している。	

事業(一次)評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	公園施設に対するいたづら被害が散見され、悪質化している。公園再生プロジェクト等により、樹木の剪定や伐採を行い、公園内に死角を生んでいる要素を改善、また防犯カメラの設置等の防犯性の向上を推進する。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	木村 克芳	

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	樹木の剪定や伐採による視認性の確保や、今後、設置を予定している防犯カメラ等により、防犯性の向上を図る。			
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	緑化推進事業			所管部署名	都市整備部 道路公園課 公園緑地担当		
	事業期間	平成11年度 ~ 未設定	事業年齢	21歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	木村 克芳
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市みどりの条例、生産緑地法		
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第2節 みどり豊かなまちづくり			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(3)緑化の推進とみどりの保全			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計	
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標2『市民の幸福実感を追及する』			款	土木費	都市計画費	
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 緑の計画			目	公園費	緑化推進事業	
	目的	対象(誰を、何を)	(直接の対象)緑化奉仕活動をしている団体、保存樹木等の所有者(最終的な対象)全市民 対象年齢 00 99 全年齢			手段(どのような事業を行うのか)	・緑化活動をしている奉仕団体への補助金の交付 ・保存樹木等の保全のために所有者との協力	
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	みどり豊かな潤いと良好な生活環境							
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	60330201	緑化推進事業補助金	
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 703302							

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	60	60	60	60	0	60	60
	② 人件費	1,709	1,624	1,738	757	△ 867	757	757
	正職員投入人員	0.22人	0.21人	0.22人	0.10人	△ 0.11人	0.10人	0.10人
	正職員人件費	1,709	1,624	1,738	757	△ 867	757	757
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	1,769	1,684	1,798	817	△ 867	817	817	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	1,769	1,684	1,798	817	△ 867	817	817
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

区分	指 標 名 (上段)		単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
	計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対象 指標	①	全市民	人	73,706	74,484	74,771	73,514	73,756
		市の人口		72,877	73,014	73,217		
活動 指標	②	緑化推進奉仕活動団体数	団体	2	2	2	2	2
		市が補助金を交付または材料を支給している団体		2	2	2		
成果 指標	①	補助金交付額及び材料費	円	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
		緑化活動に対する補助金及び材料費		60,000	60,000	60,000		
②	①	緑化奉仕活動回数	回	16	16	16	16	16
		緑化奉仕団体が実施した活動回数		16	16	16		
③	①	緑化奉仕活動達成度	%	100	100	100	100	100
		活動回数/計画活動回数		100	100	100		

評価年度の主な取組	1 緑化奉仕団体への支援 (1)よし川市川藤緑花会(補助金30,000円) 活動内容 歩道及び樹木(桜)の清掃・草刈 月1回程度 活動場所 川藤かち橋から第1給食センター (2)仁蔵河岸プロムナード緑の会(補助金30,000円) 活動内容 花の植付け及び美化活動 月1回程度 活動場所 下町・下河岸の通学路
	2 埼玉県緑化推進事業等への参加 コロナウイルス感染拡大予防のため、各事業が中止となった。(このため参画人員は減となった。R2年度比)

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	緑化活動奉仕団体を育成するために、活動の一部または材料費等を支給するものである。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					市民の緑化意識の高揚を図るために市が関与することは妥当である。
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 補助金交付額及び材料費 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 緑化奉仕活動達成度 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	緑化奉仕団体を支援すること、市の特徴である屋敷林、社寺林等を保存樹木等に指定し、保全・活用することは市民の緑化意識を高揚させるための手段として有効であり、上位施策に与える貢献度は高い。				
上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		48.39% 減少している 11.16 円	全市民 対象指標を単位として換算 単位：円/人	148.75% 増加している 24.27 円	95.06% 若干減少している 23.07 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	緑化活動奉仕団体へは、要綱に基づき補助金を交付しているが、その上限は30,000円と少額なため、コスト改善は困難である。受益者負担は伴わない事業である。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成24年10月の要綱改正により、補助金の上限額を10万円から3万円に引き下げたが、補助対象経費のうち、材料費の補助率を10/10とし、補助金の原資が無くても活動が行えるようにした。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 緑化奉仕団体構成員の高齢化の進行	機会(プラス要素) 環境保全の意識が高い市民の存在
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	持続可能性視点において、実施主体を継続的に確保することが必要である。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	緑化奉仕団体の活動を継続して支援し、市民の緑化意識の高揚に努める。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	木村 克芳	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			